

所蔵における公平：公立図書館における「靖国神社」を主題とする本の所蔵

大場博幸（亜細亜大学非常勤講師）ohba@asia-u.ac.jp

1. 対立意見の扱いをめぐる

「図書館の自由」は、公立図書館に、対立する意見のある主題の書籍において、公平な数の所蔵を求めるはずである。

この研究では、特定テーマについての賛否について述べた書籍の所蔵数を調べることで、日本の公立図書館における、公平な所蔵の実現度について検討する。「靖国神社」を主題とする書籍を採り上げ、賛否によって公立図書館の所蔵冊数が異なるかどうかについて調べた。しかし、所蔵の決定は、著作の主張のみではなく、書籍の価値や需要なども反映すると考えられる。したがって、次に、所蔵に影響する可能性のある諸属性を含めて分析することで、公平さへの配慮とその他の要因との関係について考察する。

なお、同様の問題意識にもとづいた研究を、すでに日本図書館情報学会の2006年春季の研究大会において発表している。このときは、「郵政民営化」を主題とする著作を対象とした。この結果を適宜参照することにする。

2. 意見対立がある分野の所蔵の実態

この章では、「靖国神社」を主題とする著作の賛否によって、所蔵冊数にどの程度の差があるのかを検討する。所蔵冊数は全国の市区町村立図書館から得る。

2.1. 調査タイトル

「靖国神社」は、1950年代から国内問題となってきた。ただし、1970年代半ばまでは、神社を国が管理するかどうか具体的な争点であった。1975年、当時の三木首相が参拝に公私の区別をつける発言をしたことで、首相の公式参拝が争点として浮上する。以降も首相の参拝は続けられていたが、今日まで続く国際問題となったのは、1985年に中曽根首相（当時）が参拝を「公式」であることを明確にしてからである。背景には、靖国神社やその支持者が、A級戦犯の合祀を認めるなど、戦後民主主義的な歴史観と相

容れないことがある。

「靖国神社」は、伝統的なイデオロギー対立に収斂する主題であり、書籍において賛否が曖昧にされる可能性が少ない分野である。ただし、本研究では、調査対象を国際問題化した1985年以降のタイトルに限ることにする（これ以前のタイトルで、現在でも入手可能な2点も加えている）。1985年以前のタイトルを除いたのは、需要を示すデータを入手し難いためである。

タイトルは、第一に、国立国会図書館蔵書目録における件名を基準として選定した。件名として「靖国神社」が付与され、かつ建築関係・工事記録・名簿・私家版でないタイトルを選んだ。第二に、上に含まれないもので、国立情報学研究所のwebcatにおいて件名に「靖国神社」を持つタイトルも加えた。第三に、上記以外で、オンライン書店Amazon.co.jpで「靖国」のキーワードでヒットし、靖国神社を中心主題とするタイトルをさらに加えた。

こうして、1985年～2005年の12月までに発行された96タイトルが選定された（1985年以前の2点も含む）。このうち58タイトル分を抜粋した付表を示した。

また各タイトルは、内容を分析され、首相の公式参拝あるいは靖国神社の持つ思想の賛否に従ってグループ分けされた。値は付表の「立場」の項に記した。反対(-2)、やや反対(-1)、中立(0)、やや賛成(1)、賛成(2)である。「やや反対」には、著述は中立的だが、現状を問題視する著作が含まれている。一方、「やや賛成」には、靖国神社の思想に深く立ち入らないガイドブック的な著作が含まれている（このような著作は中立ではないと見なした）。

2.2. 調査図書館

所蔵調査の対象は、日本全国の市区町村立図書館で、都道府県立図書館の横断検索システムから検索可能な図書館を選んだ。特に、ISBNを使った検索を行うことのできる図書館を優先し

た。館数は、自治体単位で312館ある。(ただし、市町村合併を行ったが図書館システムの統合がなされていないケースについては、『日本の図書館 2005年版』に従って自治体数をカウントした) 調査は2006年1月30日~2006年2月14日の間に行われた。

2.3. 調査結果

結果を第1表に示す。1タイトルあたりの所蔵冊数からは、反対派のタイトルは、賛成派のタイトルがやや多く所蔵されているように見える。しかし、二つのグループの間には平均において有意な差が無かった。

賛否のバランスは、反対派にやや有利に見えるが、深刻な偏りがあるとは言えない(例えば「郵政民営化」を主題とする書籍の場合、賛否によって2倍の差があった)

第1表 賛否別点数と所蔵冊数

	タイトル数	所蔵冊数	1タイトルあたりの所蔵冊数
反対(-2)	47	3486	74.2
やや反対(-1)	3	176	58.7
中立(0)	5	237	47.4
やや賛成(1)	14	509	36.4
賛成(2)	27	1749	64.8
反対+やや反対	50	3662	73.2
賛成+やや賛成	41	2258	55.1

3. その他の要因

賛否のバランスは、果たして公平への配慮の結果であろうか? 所蔵には意見の違い以外の属性も影響する。次にそうした他の属性も分析に含めて検討する。

一般に「特定主題への賛否」だけが所蔵を決める重要な属性ではない。著者の思想や立場だけでなく、価格や、出版時期、出版社や著者に対するイメージ、利用者のリクエスト、一般的な需要などの属性も所蔵に影響すると予想される。上の調査結果も、これらの他の属性が真の要因で、偶然バランスの採れた結果になっただけという可能性もある。

以下で、所蔵に有利になると想定した属性は、著作の新しさ、安価さ、出版社の信用の高さ、需要の多さ、あるいは評判、選定図書としての評価、書評の有無である。これらを表現する指

標を独立変数とし、重回帰分析によって所蔵冊数との関係の強さを測定する。

3.1. 独立変数

- ・出版年 / 常識的な予想をすれば、発行年の新しいタイトルほど所蔵されているはずである。
- ・価格 / 常識的な予想をすれば価格の安いタイトルほど所蔵されているはずである。
- ・出版社の創立年 / 雑誌や新書においても、信用を代表する指標として、雑誌やシリーズの「古さ」は重要だった。ただし、出版社自体の古さの影響は今まで観察されていない。創立年は『日本の出版社 2006年版』を参照した。ただし、少なくない数の出版社において、倒産廃業などでデータに欠損がある。そのうち一部の社は、出来る限り近い年度の『日本の出版社』の旧版、あるいはインターネット上の会社情報などでデータを補った。

(この他に、出版社の資本金と従業員数も、出版社の信用の指標となりうる。ただし、『日本の出版社 2006年版』を用いても、データの欠損が多く、分析から除外した。データ数57件での予備的な分析においても、この二つの指標は所蔵冊数と相関せず、「郵政民営化」のケースでも同様だった)

- ・Amazon ランキング / 書籍の発行部数を推定することは難しいが、Amazon.co.jp が公開している売上ランキングによって、短期的な需要の序列は推定できる。数値は、2006年1月10日20:00時点、2006年1月27日11:00時点、2006年2月11日10:00時点の、それぞれのランクを足して3で割り、順序尺度化したものを使用した(ただし降順のまま)。累積的な需要ではないが、「郵政民営化」の分析においては、一定順位以下のランクは、長期的な需要の序列を保存した状態になっていると予想された。ただし、「靖国神社」の著作には2005年のベストセラーが含まれ、順位の変動は相対的に大きい。

- ・Amazon 評数 / これは一般読者が投稿した書評の数である。経験上、数が多いものは話題作であると解釈できる。書評は日を経れば新たに投稿されるので、調査日の違いが書評数に影響

しないように、2005年12月以前の書評を集計した。

・選定図書 / 日本図書館協会が認定する「選定図書」のリストに入ったかどうか、所蔵に影響すると予想される重要な質的評価である。該当タイトルは7点あった。選定図書かどうかをダミー変数化して分析に加えた。

この他に、新聞や雑誌などの書評の影響力も考慮した。しかし雑誌『出版ニュース』の連載「新聞・雑誌書評リスト」に従うと、書評を受けたタイトルは、分析可能なものに限れば4点のみとなり、今回の検討から省いた。

3.2. 分析結果

上の独立変数に「立場」も加えて分析した。欠損の無いデータは64タイトルに限られ、そのうち2件はAmazon評数において外れ値となるので除外した。結果を第2表に示す。

「郵政民営化」の場合と同様、出版年や価格の影響は観察されない。少なくとも、現在でも市販されている著作群の中では 今回の分析では Amazon.co.jp で取り扱われている著作のみが分析されている、出版時期の新旧は影響しないと言えそうである。

また「郵政民営化」の場合と同様に、Amazonのランキングが有意な相関を示している。一般的な需要の序列が、所蔵冊数に反映されているらしいこと確認できる。

しかし、「郵政民営化」の分析とは異なり、著作の質的な面を表わすと予想される指標のうち、Amazon 評数や選定図書かどうかは有意とならなかったが、出版社の創立年が大きな相関を示している。

第2表 所蔵冊数と関連する指標の分析

指標	標準偏回帰係数	有意確率
立場	-0.089	
出版年	0.103	
価格	-0.006	
出版社の創立年	-0.687	**
Amazonランキング	-0.359	*
Amazon評数	-0.253	
選定図書	0.087	
調整済みR ²	0.473	**

N=62. **:p<.01, *:p<.05

この違いは、対象とした著作群の性格に由来すると推定できる。新書の分析では、ベストセラーや岩波書店の出版物はそうでないものよりも優先された。「郵政民営化」のサンプルに、上記どちらかに属するタイトルは含まれていない。一方、「靖国神社」のサンプルにはどちらも含まれており、それらは所蔵冊数の序列において上位にある（付表参照）（ただし、上坂冬子『日本はそんなに悪い国なのか』と坪内祐三『靖国』は、後に発行された文庫版のためか、Amazonのランキングに過去の需要は反映されていない。一方、出版社の古さには貢献している）

すなわち、この結果は、ベストセラーと岩波書店刊行物が優先され、それ以外は次点とされた、新書の優先序列とよく似ている。ちなみに、上記の属性を持つ著作を除いた55タイトルの分析では、出版社の創刊年がやはり有意な相関を示していた。新書の所蔵数において属するシリーズの古さが相関していたように、需要のデータが得難いタイトルは、出版社の信用を示す指標によって序列が決まるのだと推定される。ただし、この解釈では、需要のみが影響した「郵政民営化」の場合との整合性がとれない。

4. 結論

以上の分析で、所蔵のバランスの原因が確定できたわけではない。推測を言えば、争点化した時期が近年であった「郵政民営化」と異なり、「靖国神社」を長期に認知された争点として、公立図書館は配慮してきたのではないだろうか？所蔵冊数のバランスも、付表での序列を検討すると、需要や出版社の信用を優先した結果ではなく、それらに配慮してもなお調整されているという印象をもたらすものである。

参考文献

- 大場博幸. “所蔵に影響する要素：市町村立図書館における新書の選択”. 2005年度日本図書館情報学会春季研究発表要綱. p.23-26.
- 大場博幸. “所蔵における公平：「郵政民営化」を主題とする本の所蔵”. 2006年度日本図書館情報学会春季研究発表要綱. p.39-42.

付表 調査タイトル(ただし96点中58点の抜粋)と、靖国神社に対する賛否(上から所蔵冊数順に並ぶ)

タイトル / 責任表示	出版社	出版年月	価格 (税込)	立場
この国のゆくえ(岩波ジュニア新書) / 梅田正己	岩波書店	2001.10	819	-2
靖国問題 / 高橋哲哉	筑摩書房	2005.04	756	-2
靖国の戦後史 / 田中伸尚	岩波書店	2002.06	819	-2
日本はそんなに悪い国なのか / 上坂冬子	PHP研究所	2003.08	1,365	2
靖国神社 / 赤澤史朗	岩波書店	2005.07	1,890	-2
靖国 / 坪内祐三	新潮社	1999.01	1,785	1
靖国神社 / 大江志乃夫	岩波書店	1984.03	735	-2
新ゴーマニズム宣言SPECIAL靖国論 / 小林よしのり	幻冬舎	2005.08	1,260	2
すっきりわかる「靖国神社」問題 / 山中恒	小学館	2003.08	1,470	-2
Q&Aもっと知りたい靖国神社 / 歴史教育者協議会	大月書店	2002.06	1,155	-2
靖国神社:正しく理解するために / 三浦朱門	海竜社	2005.08	945	2
靖国違憲訴訟 / 大江志乃夫	岩波書店	1991.08	357	-2
慰霊と招魂:靖国の思想 / 村上重良	岩波書店	1974.01	632	-2
靖国問題の原点 / 三土修平	日本評論社	2005.08	1,575	-1
検証・靖国問題とは何か / PHP研究所	PHP研究所	2002.07	1,680	2
国家と犠牲 / 高橋哲哉	日本放送出版協会	2005.08	966	-2
「心」と戦争 / 高橋哲哉	晶文社	2003.04	1,470	-2
国家戦略からみた靖国問題 / 岡崎久彦	PHP研究所	2005.08	756	2
靖国(文庫版) / 坪内祐三	新潮社	2001.08	620	2
日本人と靖国神社 / 新野哲也	光人社	2003.07	1,995	2
靖国神社:1869-1945-1985 / 村上重良	岩波書店	1986.03	263	-2
靖国神社と日本人 / 小堀桂一郎	PHP研究所	1998.08	693	2
靖国神社をどう考えるか? / 加地伸行ほか	小学館	2001.08	500	0
靖国問題の精神分析 / 岸田秀,三浦雅士	新書館	2005.08	1,575	0
いま「靖国」を問う/平和を願い戦争に反対する戦没者遺族の会 ようこそ靖国神社へ / 靖国神社,所功	かもがわ出版 近代出版社	2001.08 2000.04	600 1,575	0 1
首相が靖国参拝してどこが悪い!! / 新田均	PHP研究所	2005.08	1,365	2
靖国神社一問一答 / 石原藤夫	展転社	2002.12	1,050	2
天皇の神社「靖国」(増補版) / 西川重則	梨の木舎	2000.02	2,100	-2
靖国公式参拝の総括 / 板垣正	展転社	2000.06	2,100	2
検証国家儀礼:1945~1990 / 戸村政博	作品社	1990.08	2,752	-2
新世紀の靖国神社 / 小堀桂一郎,渡部昇一	近代出版社	2005.10	3,675	2
参拝したら違憲 / 小泉首相靖国神社参拝違憲九州・山口訴訟団	明石書店	2004.09	2,310	-2
戦争と追悼:靖国問題への提言 / 菅原伸郎	八潮社	2003.07	2,205	-2
あなたが決める!靖国神社公式参拝 / 宮地光	チクマ秀版社	2001.08	1,050	-2
いざさらば我はみくにの山桜 / 靖国神社	展転社	1994.08	1,050	1
靖国神社に異議あり / 樋口篤三	同時代社	2005.08	1,995	-2
靖国論集 / 江藤淳,小堀桂一郎	日本教文社	1986.12	1,631	2
靖国神社遊就館の世界 / 大原康男	産経新聞ニュースサービス	2003.07	1,500	1
自衛隊よ、夫を返せ!(文庫版) / 田中伸尚	社会思想社	1988.10	588	-2
新しい追悼施設は必要か / 国際宗教研究所	ベリかん社	2004.03	2,730	-1
「靖国神社への呪縛」を解く / 大原康男	小学館	2003.08	500	2
岩手靖国違憲訴訟 / 沢藤統一郎	新日本出版社	1992.03	693	-2
戦死者のゆくえ / 川村邦光	青弓社	2003.11	3,570	0
やすくにの祈り / 靖国神社,やすくにの祈り集委員会	産経新聞ニュースサービス	1999.07	4,800	1
靖国論集(新版) / 江藤淳,小堀桂一郎	近代出版社	2004.07	1,680	2
靖国神社 / 板倉聖宣,重弘忠晴	仮説社	2002.07	578	-2
靖国の日 / 村上令一	朱鳥社	2001.12	1,050	0
ニッポン人なら読んでおきたい靖国神社の本	宝島社	2005.09	900	0
靖国:この国を愛するために / 宮本辰彦	国書刊行会	2005.08	1,680	2
靖国と憲法 / 百地章	成文堂	2003.11	2,625	2
日本はそんなに悪い国なのか(文庫版) / 上坂冬子	PHP研究所	2005.08	560	-2
合祀はいやです。 / 田中伸尚	樹花舎	2003.12	1,890	-2
昭和っ子は謳う / 南雅也	展転社	1993.05	1,529	1
散華の心と鎮魂の誠 / 靖国神社	展転社	1995.12	1,050	1